

ださい。入場料は無料ですが、飲食代はかかると
思います。

<出席委員会>

碓井委員

	会員	出席	欠席	メーク	出席率
第1718回	38	30	8		78.95%
第1717回	38	28	10	2	78.95%

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	25件	35,000円	955件	1,041,827円
財団	0件	0円	35件	426,000円
ベネファクター	0件	0円	2件	200,000円
米山	0件	0円	32件	465,700円

本日のプログラム

<会員卓話>

■野島パスト会長

会員が入れ替わりしていますので、まず自己紹介させていただきます。昭和56年に入会して、1989年度の幹事をやらせていただきました。入会して10年経っていたのですが、何も分からないまま終了してしまいました。2004年度に会長をさせていただきました。ほとんど安藤亨幹事がやってくれたので、だいぶ楽をさせていただきました。会長になった年が、たまたまロータリー創立100年だったので色々なイベントを開催しました。ロータリークラブが他のクラブと異なるのは、「奉仕の理念」です。あくまでも自分の職業を大切にロータリアンとして奉仕活動していこうというものです。2009年には、地区のガバナー補佐に推挙されました。自分には関係ないと思っていました。急なお話で自分にできるのかと心配もありましたが、時間が解決してくれました。しかし、周りの方にはご迷惑をおかけしたのではないかと思います。そこでは良い友人にも恵まれ、良い経験をしたと思っています。百合丘RCは会員数が多いので、2度会長をやることはないと思いますので、ルールだけ守れば自分流の会長にしてもらえてよいと思います。では、ロータリーのルールとは何か今一度確認をかねて申し上げます。

①例会の実施

例会は基本毎週開催し、年4回までは休会が可能です。

②クラブ協議会の年6回実施

クラブ協議会は年6回が望まれています。クラブ協議会はプログラム、活動、会員教育について協議す

るための会合です。クラブ全員参加が望ましいとされています。

③クラブフォーラムの奉仕部門ごとの年4回実施

クラブフォーラムは、より良い奉仕活動の実践を目指し、話し合い・討議する公式会合です。皆さんの活発な意見交換をしましょう。

これとは別に、地区研修協議会の延長線上に研修リーダーの設置しようという動きがあります。ロータリークラブが発展する為に、研修実施していこうというものです。こちらは提唱段階ですが、これからおいおい組織化されればよろしいかと思えます。



■鈴木文夫パスト会長

台湾永和ロータリーについてお話したいと思います。永和RCとは1978年にクラブが設立した当時から、交流が始まりました。当クラブはロータリー国際大会が東京で開催されたことを記念して、1978年にガバナーからクラブ拡大の提案があった事で創設されました。国際大会には多くの外国のロータリアンが参加していたこともあり、多摩RCの会員が中心となってこれから国際交流も指していこうという案が持ち上がっていました。日本から近い、日本語が比較的通じやすい、箸を使う文化だったことがあり台湾が選ばれました。当クラブからは4名の方が、台湾のロータリークラブを訪問しとても歓迎を受けたそうです。しかし、当時日本から参加したクラブは設立が浅く、訪問した台湾のクラブとでは釣り合いが取れませんでした。そこで紹介されたのが、永和RCです。永和RCは百合丘RCより1年前に設立しており、環境が似ていた為、交流ができるのではないかと思ったようです。このような経緯で友好クラブという正式な文書はありませんが、口約束で5周年ごとに交流をしようと言うことになっています。当時に比べて最近では、日本語がほとんど通じません。これからの日本を考えれば、台湾は、一番身近で一番交流ができる場所ではないでしょうか。台湾は、とてもグローバル化が進んでいます。もっとも私達もグローバル化していきましょう。

